

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

## 現状認識

- ・株主との対話を通じて、資本収益性の改善が経営上の重要課題と認識
  - 株主資本コストは、6.5～7.5%と推計
  - ROIC目標（25年度：19%）を設定したが、今期13%程度で推移  
需給バランスの崩れによる在庫の増加と成長投資の実行により、短期的には計画を下回る見通し
  - ROEは、今期末7%程度を予測  
次期中期経営計画実行期間中（26～30年度予定）に、10%超を目指す
  - PBRは1倍を上回るものの、足元の水準は十分とは言えない

## 方針

- ・中期経営計画の達成を目指す  
（25年度目標：連結売上4,500億円、営業利益500億円、ROIC19.0%、ROE8%、総還元性向（5年平均）40%、配当性向40%）
- ・中期経営計画で設定したキャピタルアロケーションに基づき、①成長投資の実行、②株主還元の充実

## 具体策

### <ROE向上>

- ・業績回復・成長投資（電化対応、バリューチェーン拡大）による稼ぐ力の更なる向上
- ・長期的な成長目線で配当性向の引き上げとあわせた機動的な自己株式取得

### <PER向上>

- ・国内海外投資家に対する情報開示の充実とIR活動の強化
- ・ESGへの取組み推進
  - 気候変動リスクへの対応
  - 財務指標と連動した役員報酬 など